

# 身近な環境と人との関わりを考えよう

## 長浜市立永原小学校

本校は、滋賀県の北端にある自然の豊かな小規模校である。その地域の自然を生かして様々な環境学習を展開し、地域の良さを理解するとともに、よい環境を作ろうとする子の育成を目指している。

### 1 エコ・スクール委員会による活動

#### (1) プランタ栽培による花の栽培活動

全校児童が2人1プランタ栽培を通して、花いっぱい为学校にしようとする活動。

#### (2) クリーン活動

滋賀の環境美化の日（5月、7月、12月）に合わせて実施。通学路や学校周囲の環境美化などに取り組んだ。特に12月の県下一斉清掃の日に合わせて活動は、校地内の落ち葉を集めて腐葉土化して次年度以降の栽培活動に役立つ活動でもある。



〔クリーン活動：落ち葉拾い〕

### 2 5年生の実践

#### (1) 水生生物の調査

本校では、昨年度から水生生物の調査を行っている。フローティングスクールに参加して琵琶湖の水を調べたり、学校近くの水系から採取したプランクトンの学習をしたりする5年生が、調査隊として活動している。校区には、大浦川、八田部川、もろこ川という3本の大きな川がある。生活科や総合的な学習の時間に、いろんな学年が探検に出かけている。調査隊は、今年も昨年同様、大浦川の中流を調査した。調査については初めての経験なので、八木善勇先生に講師としてきていただき、採集の仕方や生

物の見分け方などを指導してもらった。調べてみると、トビケラ類がたくさん見つかった。次に多かったのは、カゲロウ類。昨年多かったヘビトンボやヒラタカゲロウは全く見られなかった。結果、大浦川の水は、昨年同様きれいであることが分かった。また、子ども達の水環境への関心が高まり、さらに自分の家の近くの川を調べたい、八田部川はどうだろう、という意見が出た。今回、講師の先生をお迎えしたことで、似ている生物の区別の仕方や採集の手順では適切なアドバイスをいただくことができた。専門的な立場から助言していただくことで、調査の信頼性が高まったと言える。今後は、同じ地点の調査時期を増やすことと、さらに他の地点の調査について可能性を探ることが課題である。

#### (2) ゴーヤ栽培

夏の省エネ対策として、5年生の理科学習でゴーヤによる「緑のカーテン」を校舎に設置し、栽培・観察を行った。

ア 緑のカーテンの効果を検証するために、カーテンの内側と外側の温度測定を実施した。

イ 「緑のカーテンと地球温暖化」「二酸化炭素を減らすために、自分たちができること」について話し合いをもった。



〔ゴーヤ栽培の様子〕

### (3) カワウの学習

理科の授業の中で、カワウの学習を行った。フローティングスクールでもカワウを目にしているが、生態や琵琶湖の環境については深く理解していない。そこで、専門家を招聘し、琵琶湖に及ぼす影響を中心とした学習を設定した。講師は、湖北野鳥センターの方をお願いした。まずはじめに、カワウの生態や子育ての様子について教えていただいた。剥製を実際に見たりし興味を持って学習していた。後半は、カワウの琵琶湖に与える影響について、説明があった。子ども達は、「今後、菅浦や八田部などにも被害が広がってくるかもしれない。」「決してカワウが悪いのではない。」「という意見が出た。子ども達は、人とカワウが共存できることを考えていく必要があるということ学んだ1時間であった。

### 3 6年生の実践

#### (1)「守ろう永原の自然 山門水源の森調査と保全」

6年生の総合的な学習の時間では、「山門水源」を教材として学習している。昨年度は、昭和の中頃まで行われていた「炭焼き」について学習し、「この地に住む人々と環境」について考えた授業を行った。今年度は、山門水源の観察と保全活動を中心とした学習を行った。

ア 森の木の枝払いをし、光が入ると植物が育つことを山門の保全活動を行っておられる方から学んだ。

イ 児童は植物がさらに育ちやすくなるようにと枝払いによってできた木ぎれを集め、山肌の地面が見えるようにする保全活動を行った。また、土を山道にまく活動も行った。



〔水源の観察〕



〔山門水源の保全活動〕

### 4 成果と課題

5、6年生を中心にまとめたが、本校では、全学年を通して環境学習を展開している。例えば、1年生では、「ダイコンの栽培」を行った。地域の方にダイコンの種まきから草取り、間引き、肥料やり等々のご指導をいただき、プランタでの栽培をし、長さ約20センチのダイコンの収穫ができた。また、4年生の総合的な学習での「森のひみつをさぐるう」では、「森林の大切さ」についてビデオを視聴して学んだり、のこぎりの正しい使い方について地域の方から学んだりしている。

このような活動が、学校教育だけにとどまらず、地域や身近な生活の中で、環境に関心を持ち、保全活動に結びつくことが本来の環境学習であると考えている。そのためには、家庭や地域の方との連携をさらに深めていくことが必要であると考える。

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 学校名    | 長浜市立永原小学校                |
| 住所     | 長浜市西浅井町大浦167番地           |
| 電話番号   | 0749-89-0004             |
| E-mail | Nagahara_syo@yahoo.co.jp |